



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

発行責任者 柳 利夫

住所 東村山市萩山町5-6-26-301

Tel. 0423-92-8808

編集者 川村 英明

## 夏季合宿行状記 (見たまま 聞いたまま)

7月21日(金) 快晴

市民テ 昭和53年度夏季合宿が今日から始まる。こうした行季での定例の集合場所となった東住給水塔ワキに早朝(?) 7時45分集合! 残念ながら定刻には全員集合といかず、5分待つて、10分待つて、15分を経過して始めて全員集合と先行きが思いやられる状況となりました。

今回の参加は男性13名、女性16名、子供12名、合計41名とほぼ計画通りの参加を得て、夏の公式行事としての合宿が発展的に定着してきたことは喜ばしい限りです。

どうせ急ぐ旅でもなし、これから行く那須グリーンウッドテニスランチは気心知れた場所、少々到着が遅れたところで大きな問題にもなるまい、と幹事がユウユウとこれから行くコースの説明やら、注意事項を済ませて、イザ出発は30分遅れて8時30分でした。

途中、新大宮バイパスでの混雑はあったものの順調に車を飛ばして久喜インターチェンジより東北自動車道に乗り入れる。佐野のサービスエリアと那須インターチェンジで待ち合わせ休憩、全車揃って目的地那須グリーンウッドテニスランチに到着したのは正午を少々過ぎた頃でした。

山の上から見下ろす50数面のテニスコートは景観であると同時に、サア我々もやるぞという武者ぶるいを覚えます。

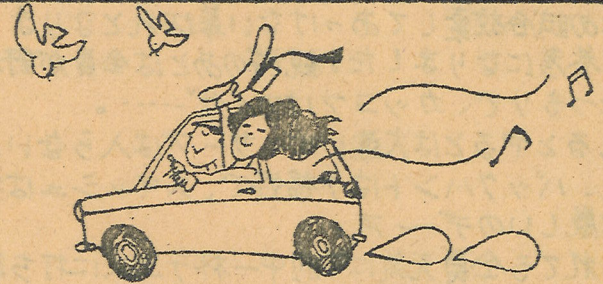
食堂での昼食もソコソコに全員テニスコートへ直行、今日のコートはグリーンとセピアも鮮やかなハードコート、厭が上にもやる気をおこさせます。

尚、子供達は自主的に子供達だけの合同集団生活を厳命してあるので、早速アールでの自主活動にとりかかります。これは二日目も三日目も続けられることになりました。それはそこ、子供達も良くしたもので大きな子は小さな子の面倒を良く見るし、小さな子は大きな子の言うことを素直に聞いて、立派に合同集団生活を推進してゆく有様は、見事というほがはありませんでした。

そうした恵まれた環境の中で、親達はテニスに狂って、猛暑何するものぞの心意気でボールを打ち、ボールを拾い、真赤に日焼けをして、第一日目の日暮れを迎えることになりました。

風呂は相変わらず女性上位で、大浴場は女性が先に占拠し男性は部屋に付属の小さなホリバス、身体の大きな人は洗うこともままならず、身体を沈めれば大半のお湯があふれ出てしまうので、後から入る人のことをチラッと頭に入れながらの入浴となりました。

楽しい夕食を済ませて又々全員集合、スカッシュのコートに座り込んでWCTの何年か前の試合の映画を見せられ、スクリーンに映るダイナミックで、華麗で、人間業とは到底思われない超美技の連続に、感嘆の声をあげる人もあり、昼間の活躍の疲れがドッと出て高イビキの人もありました。が、無事予定の行動を終了して那須の夜は更けてゆきました。



7月22日(土) 朝と夕方は小雨、昼間は快晴

夜も白々と明けてテニス合宿二日目の朝は生憎と外は小雨、コートはピカピカ光っています。

テニスに狂った人達はそんな雨も何のその、コートに飛び出して早朝の5時ごろからボールを打ち始めます。その熱心さには感心するばかり、恐れ入りました。

一汗かいて、雨に濡れて、水がしたたる美男美女(?)達が着替えを済ませて待望の朝の食事、そのウマイこと、食べ放題のライス全員が山盛りで、おひつのおがわりをする始末です。

全員の行ないがいいのか、奇蹟が起ったのか、神様のお恵みか、イザという時にはドピーカン、昨日に続いてのカンカン照りとなり、絶好のテニス日和となりました。

全日本都市対抗大会がその熱戦を繰りひろげているコートの隣りで、将来は東村山市が出場する様になって、代表選手として活躍出来たらナ、と夢に見ながら練習に一層熱がこもりました。

計画では二日目の午後は、テニスをやめて男女対抗の水泳大会をと考えていたのですが、多分水着姿に自信がないからだろうと思いますが、女性軍から午後も是非テニスをとの強い要望で継続テニスとなりました。(残念!)

中には「ナイターもやりたい」と言う気遣いも出てくる有様で、考えて見ると早朝5時ごろからボールを打ち始めて、朝と昼の食事時間を除いて、あのカンカン照りの中で子供達を放り出してテニスに狂い、更にもうナイターをと考えるこのテニスアニマルさ加減を何と表現したら良いのでしょうか。

夕方は稲妻が光って、雨も降り出して、本日のメインイベントであるキャンプファイアも危ぶまれましたが、幸にも大したこともなく思い切って強行することになりました。まず最初に子供達が一所懸命に洗って、刻んで、芯をとって用意してくれた野菜(キャベツ、ピーマン、サツマイモ)を肉やウインナ等と一緒に大きな鉄板の上で焼いて食べるバイキング、焼ソバ、おにぎり等、どちらかといえば子供達よりも大人のオが楽しんでるみたい。

お肉はないかしら、焼ソバがオイシイヨ、と賑やかな食事で腹一杯になったところでキャンプファイアが始まります。歌を歌って、踊って、ゲームをして、花火を打ちあげての大騒ぎもいよいよクライマックス、よく見ると他所の人達も仲間に入っていました。

楽しく賑やかな、表向きは子供達用でその裏で大人が楽しむキャンプファイアが終ると、子供達は強制就寝となり、恒例の幹事部屋でのミーティングが深夜まで続けられることになりました。(裏面へつづく)



7月23日(日) 快晴

今回のテニス合宿もいよいよ最終日、名残りの早朝5時からのテニスは今日も続きます。

全日本都市対抗大会も決勝戦、東京都対川崎市の戦いとなり、我々も女子シングルス野村(川崎市)と島中(東京都)の試合を観戦する。激しいラリー、打ち合いはさすが日本のトッププレーヤーの試合でした。途中で島中が腰痛のため試合放棄してあっけない幕切れとなりましたが、大いに参考になりました。観戦のあとは全員が野村選手になったつもりで、カッコつけてイザ-----。

見るとやるとは大違いで、サーブは入らない、ボレーはダメ、バックハンドは不格好で、スマッシュは空振り、現実には厳しいデース。

それでも全員元気に午前中一杯テニスに打ち興じ、昼食の後、氷イチゴを食べながらの反省会を1時間、ファミリーで参加した人も、子供だけ連れてきた人も、奥さん旦那さんを家に残して1人だけで参加した人も、総じて楽しかった、良かった、と好評の合宿だった様でした。

途中事故もなく、全員無事に夕暮せまる頃東村山に到着出来ました。何はともあれゴクロウサマでした。



## 夏季合宿に参加して

長井 庸二

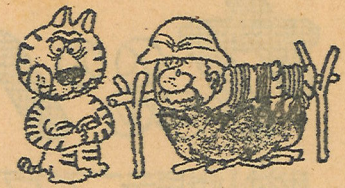
東北自動車道でルーフキャリアーを載せたマイクロバスがさっ爽と追い抜いて行く。笹野井幹事の運転する車である。しかし、約束の待合せ場所の那須インターチェンジに着いてみると、先に着いているはずの笹野井幹事の車が着いていない。少し遅れてあらわれ、一つ手前のインターチェンジで降りてしまい、あらためて自動車道に入りなおして来た由。

この程度のアクシデントがあっただけで、全員無事に「歓迎!都市対抗選手団」の横断幕をくぐり、グリーンウッドテニスランチへ到着した。コートでは都市対抗の熱戦が繰り広げられていた。暑い。日中の日射しの強さは東京以上かも知れない。さあ、暑さに負けず頑張るぞ。

当協議会の合宿のあるべき姿というものを考えてみよう。合宿参加者はどんな目的を持って参加するだろう。バケーション、家族サービス等々、とは言ってもそれらは二次的なもので「うまくなろう」、「ローボレーをマスターしよう」とテニスをミッチリやろうというのが共通した意気込だと思ふ。しかし、昨年の合宿では「ミッチリと基本練習を!」をモットーに練習計画を立てたが、今年と同様に猛暑の3日間、参加者の年齢(体力)等から練習が厳し過ぎるという批判が集中してしまった。今年はこの点を反省し、基本練習については一つだけに限定し、これだけをマスターすることとし、他の時間はゲームをやるという練習計画を武谷技術部長が立ててくれた。これがよかったと思ふ。

過去に何度か合宿をやってきたが、今回の合宿が当協議会に最も適した合宿の形であると思ふ。すなわち、基本練習については一つの重要項目を定め、それだけをマスターするものとし、それ以上に欲張らない。他の時間についてはゲームの時間とし体力の消耗を抑え、また、テニス以外の催物を盛り込み、家族全員で参加し、楽しめるものとしたことである。

最後に、合宿中体調不十分であったため、参加した皆様に不要なご心配をおかけしましたことを、この欄を借りておわび申し上げます。



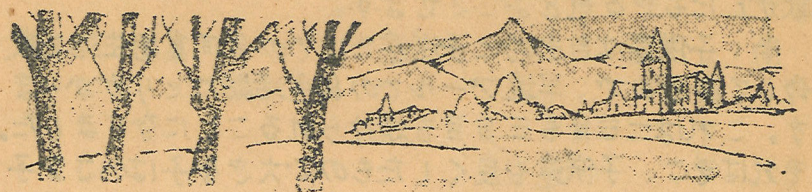
## 新会員の 初合宿印象

(本町クラブ) 小林 紀子

涼しい那須でテニスができる、と喜びいさんで参加した那須グリーンウッドテニスランチでの合宿でしたが、涼しかったのはクーラーのきいている部屋の中だけで、真夏の太陽のもとでの暑い暑いテニスとなりました。にもかかわらず皆さんのなんと熱心なことでしょう。流れるような汗を拭おうともせず、ただ白いボールをひたすら追いかけるのです。ここで、十代の私としては負けてはいられません。必死にボールと追いかけてこをしているうちに短い3日間が過ぎてしまいました。

場所が変わったということと、また普段久米川コートではやったことのない練習もたくさん盛り込まれていたということのためでしょうか、何か今までとは違った新たな気分がボールに向かうことができたような気がします。また、試合を通して実践のむずかしさというものがわかり、今までやってきた、ただ相手コートへボールを返すだけでは試合にならないことを思い知らされました。それでも、へたはへたなりに、楽しく、そして少々緊張感を伴う試合が出来たように思います。技術的に特別進歩したというものは、残念ながらありませんでしたが、何かきっかけのようなものがつかめただけでも大きな収穫だったと思います。

ふつう合宿というと、テニスオンリーで終わってしまうのですが、そうでないところがこの合宿のよいところではないでしょうか。大(?)花火大会、キャンプファイアを



囲んで歌ったり踊ったり、また外でやった鉄板焼では、子供より大人のほうが楽しんでいました。く実は私もその一人でしたが-----まさにファミリー向きテニス合宿の決定盤という感じで、大人も子供も十分楽しめたのではないのでしょうか。

姉と私は、7月に入れていただいたばかりの新米ですが、ずうずうしくも合宿に参加させていただき、皆さんの名前もどうやらおぼえました。アットホームな雰囲気このクラブはたいへん楽しく、今回の合宿でもこの雰囲気そのまま、充実した楽しい3日間を過ごすことができて大満足しています。来年の合宿にもぜひ参加したいと思っています。これから姉ともどもよろしく願いいたします。





## 初めての合宿生活

(東住クラブ) 山口 信子

息子は朝早くから目を覚まし、私をおこす。合宿に出かけるのを、今か今かと待って、いつもは身じたくがのろくおこられっぱなしなのに、身じたくがはやい。

クワガタがコートの方にたくさんいるのだろうと、胸をわくわくさせているのだろう。そんな息子につられて、早目に集合場所についてしまった。東住宅を後に、那須に向かう。私達の乗った車は、ベテランの運転で、スーパーカーよろしくすいすいと横の車を追い抜き、スピード警報機の「チン、チン」の音もなんのその、子供にけしかけられて蛇行運転したりで、私の心臓はドキドキのしっばなし。空の青さにほっとした頃、到着。

那須高原のふもとの小高い丘に囲まれた敷地に50面ものコートが広がっている。こんなところで3日間テニスを楽しめるなんて、着替える前から嬉しくなる。

テニス、テニス、又テニスで3日間はあ〜という間に過ぎてしまった。夕方は陽が落ちないのに、宿に帰るのが心残りであったが――。

年がいもなく興奮気味か、つかれもおぼえず、夜は夜でおしゃべりに興じていた。キャンプファイア、花火、プレゼント交換、すいが割り等々、楽しい思い出となる。

又、同伴した子供は、子供同士で思う存分楽しめたらしく満足していた。親に干渉されない子供達の部屋をあたえられ、気ままに過ごした様子である。私は、子供を連れてきたことを忘れさせられ開放的になる。毎年、楽しかった話だけを分けてもらっていたが、今回初めて参加、来年もぜひ参加したいな〜と、はやくも楽しみにしております。

企画、準備、指導して下さい下さった方々、本当に御苦労様でした。ありがとうございました。



## 部外より参加して

中林 美律子

私は29才、花も恥らう主婦稼業。家事にバイトに明け暮れて、てんやわんやの毎日なはずなのに、何故かテニスとテニスと狂い気味、ファッションだけは超一流。

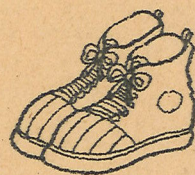
ラケット抱いてたたずめば、誰がみてもこの肌じゃ、並のアレイヤーじゃありません。このたび、ひよんな事から、テニスランチの合宿に、参加させていただいたお邪魔虫。

やって来ました那須高原、涼しいのなんのと東京と全く変わらぬこの暑さ、そのうえ何とコートが多いのにビックリ!!

昼食をすませ、さて練習、練習。ハードコートは土ぼこりが全然出ないので足が汚れないから、私みたいな上品な人向きのコートなんだわ――?

ところでテニスって投げてもらったボールを打つのだったかしら? テレビでみていると、打ち合いの連続でとてもカッコヨカッタのになあ〜。どうもそんなわけにはいかないものです、ああ〜。(そう、私はラケットをにぎってほんの数ヶ月のビギナーなのです。)

3日間続けて面倒みてくれた私たちの先生は、今回の合宿の幹事さん、その心遣いの行きとどいている事。朝から晩まで手とり足とり、お疲れ様。私、少しはサマになって来たかしら?



## 私とテニス

<連載11>

(本町クラブ) 島田 喜美枝

この素晴らしいスポーツ「テニス」を始めて本当に良かったと思います。二年前の九月、入会させていただいたので、武谷さんご夫妻始め皆様のお陰で、市民大会に参加出来るようになりました。本当にありがとうございます。

初めは職場の友達に誘われてしたのですが、夢中になってしまいました。特に日曜日の早朝などは楽しみです。市民テニスクラブは、平等で、人間的なところが好きです。恵まれた環境だけに、自分で目標をもって吸収しないとマンネリ化してしまうと思いました。今だに相性が悪く、ボールに逃げられたり、追いかけられたりしていますが、汗を流したあとは何とも言えず爽やかです。新しい人間関係も生まれ、ずいぶんプラスになっています。昨年の合宿に参加しましたか楽しい思い出の一つとなっています。

チョッピリ後悔しているのは、もう少し早く始めていたら……ということ。学生時代はあまりスポーツに縁がなく、卒業してからは、バレーボール、卓球、山登り、そして水泳と180度回転し、自分でも驚きました。兄にはヘタの横好きだからもうやめろ! などと言われていますが、じっくりと取り組んでみたいと思っています。何事も十年位はかかると私なりに思っています。何回か捻挫したり、体調がくずれましたが、毎日の健康管理が大切と思いました。ブランクの間は辛く、キング夫人の自叙伝や沢松さんの本を読んだり、気を紛らわしました。

最近右腕が少し発達してしまい悩んでいます。友達に「ホパイちゃん」などとニックネームを付けられてしまいました。テニスは考えれば考えるほど「哲学」ではないかと思っています。ますます興味深いこの頃です。

最後に市民テニスクラブの充実と発展を心から祈っています。今後共、よろしくご指導お願い致します。

## 久米川コートに

## 手作りの日除・ベンチ

完成!!

ご存知の方もあろうかと思いますが、久米川テニスコートのコートサイド3カ所にしゃれた日除けとベンチが出来ました。暑さの中の練習に疲れたとき、強烈な夏の太陽をしばし避けるとき、何気なく利用されている日除けとベンチですが、当協議会の本町クラブ所属 米沢行夫さんが多忙な時間をさいて労働提供し、作って下さった手作りのものです。鉄骨材料、屋根用塩ビ波板、ヨシズetc. 材料費約10万円だけのお支払いだけで結構ですと、文字どおり米沢さんの勤労奉仕によるものです。

ガットの紙上をかりてお知らせします。

ありがとうございました。

今回は「那須合宿」特集号になりました。朝晩秋の気配がたまた、秋季市民大会も近づきました。次号、次々号とも優秀な成績で飾れるよう、皆さん大いに頑張りましょう。基本に忠実に、一に練習、二に練習!